

飛鳥ひびと

古きもの
・
明日のもの

2023年
春から
夏へ
No.16



優しい時間 (稻渕)

絶えず流れ続ける飛鳥川の流れが止まつたなら、人々は「どうしたのだろ…」と不思議に思うことでしょう。それと同様に、これまであなたのもとに足しげく通っていた私が通わなくなつたら、きっとあなたは不思議に思うことでしょう。

作者未詳 (巻七一―三七九)



夕陽のダイヤモンド (豊浦)

いつも通つていた女のところに通わなくなつた男。
新しい恋人ができたのでしようか。
それとも彼女に愛想を尽かしたのでしようか。
この歌は女のもとに通わなくなつたことを飛鳥川の流れになぞらえて「自分が通わなくなつたら、あなたやまわりの人はどう思うだろう」と気を揉みながら詠んだ歌ではないでしょうか。

生活の場だけではなく、数々の人間ドラマを開いてきた飛鳥川。
これから先も流れは絶えることなく、人々の生きざまを映して流れていくのでしょうか。



キトラ古墳石室南壁「朱雀」

1983(昭和58)年11月7日、明日香村大字阿部山に所在するキトラ古墳の盗掘坑から挿入されたファイバースコープは亀に蛇が絡みついた図像を捉えました。玄武の発見です。遡ること11年前には高松塚古墳で極彩色壁画が発見されおり、国内で2例目の極彩色壁画の発見となりました。その後1998(平成10)年にもファイバースコープが挿入され、青龍・白虎・天文図等の存在が確認され、2001(平成13)年にはさらに高画質のデジタルカメラにより朱雀や獣頭人身像も確認されました。高松塚古墳で失われていた朱雀は良好な状態で残されており、鮮麗な筆使いと華麗な色使いで今にも飛び出そうとする姿が生き生きと描かれています。高い技量と迷いのないセンスで描かれたいわば芸術作品としても位置付けられます。2019(令和元)年には国宝に指定されるなど、国家的見地からも重要性が認められました。

2023(令和5)年はキトラ古墳から壁画が発見されて40年の節目の年です。この40年の間、発掘・保存・公開など、様々なドラマが生み出されました。この40年を振り返り、多くの人が守り伝えてきたことを改めて認識するとともに、未来へも適切に伝えていくことの重要性を考える年以上にしていただければ幸いです。

(明日香村文化財課 辰巳俊輔)

絶えずゆく 飛鳥の川の淀めらば
ゆゑしえもあるごと人の見まくに

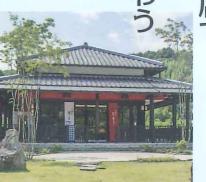
キトラ古墳のはじまり
明日の明日香へ



食

吉野本葛専門店で
見て・ふれて・味わう
飛鳥彩瑠璃の丘

天極堂
テラス店



「食に見て・ふれて・味わう」をテーマにオープンした「飛鳥彩瑠璃の丘 天極堂テラス店」は今年の9月で8年目を迎えます。

飛鳥店にしかないお食事のメニューも多数あり、中でも明日香村の野菜をたっぷり使った新鮮野菜の盛り合わせや、葛づくりの御膳がお勧めです。そして、地元の農家さんから朝とりたての苺やぶどうを仕入れ、葛スイーツとのコラボレーションを楽しめる季節限定のパフェが大人気です。苺やぶどうを提供する時、私たちが苺やぶどうのかぶり物をかぶり、苺ちゃんやぶどうちゃんに変身して持つて行くのですが、その演出に笑って下さるお客様が多く、大変人気です(笑)

又、飛鳥店では、年に数回季節に応じたイベントを開催しています。春は、苺を摘んで来て葛スイーツを作る「苺祭り」夏は、葛や季節の草花を使ってオリジナルスカーフを作る「葛の草木染め」そして冬は、葛のつるを使いクリスマスリース作りをする「ランチ忘年会」と、どれもあつとう間に満席になる人気のイベントで



楽

音楽が繋ぐ縁「一音一会」を大切に…
ピアースト 渡会らい
光晴さん

渡会さんは明日香村に住んで10年。様々な活動の中の一つに自宅を開放した「飛鳥ピアノサロン」がある。始まつたきっかけは、引越し当初、古民家に運ばれた大きなグランドピアノにご近所さんはびっくり。まず自己紹介として、暮らす集落の皆さんのが自宅でコンサートを開催。今では18回を迎えて、暮らす集落の皆さんのが自宅で所さんはびっくり。まず自己紹介として、暮らす集落の皆さんのが自宅で

音楽を通して村内外の様々な年齢、仕事をの方々が集う、楽しみ豊かな交流の場となっている。また甘櫻丘、高松塚古墳、風舞台など、明日香の美しい場所にピアノを置いて、天然自然の響きや通りがかった人の「一音から生まれる音楽を楽しむ試み『まほろばピアノ』を開催。一期一会の音を感じる時間を

す。1年を通して内容盛りだくさんの「飛鳥彩瑠璃の丘 天極堂テラス」。大切な家族の一員のワンちゃんとはテラス席をご利用頂けます。



鶏そぼろのとろろ丼や吉野うどんに葛あんがたっぷりかかった
～葛づくりの花月の膳～



皆様のご来店を心よりお待ちしております

0744-46-5566
住 奈良県桜井市山田692
(飛鳥資料館 向い)
営 10時~18時
休 月曜日(祝日の場合は翌日)



～まほろばピアノ～
甘櫻丘にて

ウル演奏家と共に、自身が演奏する宮沢賢治作の「銀河鉄道の夜」のコンサートは、好評を博している。奈良県の音楽イベント「ムジークフェストなら」にも毎年参加、グラブッカ(中近東の打楽器)や笙とシルクロードの響きを表現。演劇の音楽を担当、伊勢神宮をはじめとする神社仏閣での奉納演奏など、クラシックを軸にジャンルにとらわれない活動を行っている。「明日香の暮らしの中で、普段着で音楽の種まきを続けてゆきたい。」という渡会さんは、音楽で思いがけない人達を繋いでいる。



～飛鳥星まつり～
2021年春にCD
[素粒子-Elementary particles-]をリリース

里



～おいしい×集まる×ココロ×挑戦し続ける人～

代表の松原尚代さんの志はズバリ「楽しむ」こと。4つの業種を運営する実に多才な女性だ。

店名は家族の名前からひと文字ずつ取った。

「おむすびや～您～」は明日香産の自然栽培の米や古代米を使い、焼海苔には三重県荒木海苔店の「酸処理をしていない海苔」を使用。

おむすびのプロから握るコツを学び、お供も含め「自分が美味しい」と思うものだけを提供している。



玄米・白米・古代米 各1個150円～
やさしく握った您の
おむすびは、口の中
でほろほろと崩れます♪

「あしもみ処～尚～」は足裏から膝上までの揉みほぐし。笑けるほど痛いけど、よく効くと評判だ。自然治癒力を高め、心も穏やかにしてくれる。

「こども食堂～空～」と「トーキョーコーヒー」(『登校拒否』のアナグラム: 文字を入れ替えてつくる言葉遊び)は、こどもを中心に食事をしたり、様々な体験をしたりする場所だ。

「大人が楽しむと『私もやってみたい!』と子どもも楽しむんです。『ごはん』や『活動』をきっかけに、いろんな年代の人が気軽に立ち寄れる、そんな居場所を作りたかったんです」と松原さん。いっしょに笑うといっぱい楽しい。

ここに集まる人たちが「自分の家がもう一軒あるよ」と思える拠点を作るため、これからも松原さんは挑戦を続ける。



since 2022
ASUKA NARA Japan
高市郡明日香村越11-4
近鉄南大阪線 飛鳥駅ロータリー内
070-9040-2727



Restaurant introduction

「こどもたちが焼いて食べたり、遊んで 笑顔がいっぱい」
～おじちゃんが守つておじちゃんが守つて～



新子 信子

飛鳥からの便り



飛鳥応援大使
奈良大学生メンバー
紙芝居上演動画は
財団HPの「お知らせ・
イベント情報」から
ご視聴いただけます

奈良大学 鈴木智尋

い、まずは古都飛鳥保存財団HPでの公開という形になりました。まだまだ自由に広報活動をする機会に恵まれないのは残念ですが、今、できることを台本を作成してみたり、立ち位置を考えたりと、メンバーの予定が合うときに話し合いや練習を重ねて、もっとより多くの人に飛鳥の魅力を知つてもらうため努力していきたいと思います。そのためにも、学業や就活で慌ただしい日々ですが合間に飛鳥へ行き、自分自身をリフレッシュさせつつ、飛鳥の魅力発見に努めていきます。

大学の授業で飛鳥を訪れたことがきっかけとなり、この一年飛鳥応援大使として活動してまいりました。特に注力してきたのは、明日香村文化協会が作成した紙芝居の上演に向けた活動です。上演するにあたって、演劇の要素を取り入れようと自分たちで新たに台本を作成してみたり、立ち位置を考えたりと、メンバーの予定が合うときには尽きない。田んぼの1m下は聖徳太子や鎌足が歩いた飛鳥史の舞台である。

どんなところに歴史を塗り替える遺跡が眠るか、飛鳥の大切さはこれからだろう。

私たち
吉都飛鳥保存財団の活動を
応援しています

Panasonic

奈良交通

MIYAKO
HOTELS & RESORTS

字
一年を
振り返つて

料亭
百樂荘
HYAKURAKUSOU

NJ
近畿日本鉄道株式会社

NJ
奈良大学
NARA UNIVERSITY



料金 各300円（税込）

※ご購入は各史跡で

詳しくは「飛鳥乃余韻」で検索

明日香の史跡を楽しむことで、文化財保存も応援できるなんて、本当に嬉しいことです。尚、売上げの一部は明日香村の文化財保存及び活用のために使われるとのことです。

ご自宅に帰つてからも明日香めぐりの余韻に浸れること間違いなしです。尚、売上げの一部は明日香村の文化財保存及び活用のために使われるとのことです。

明日香の史跡を楽しむことで、文化財保存も応援できるなんて、本当に嬉しいことです。

明日香の史跡を楽しむことで、文化財保存も応援できるなんて、本当に嬉しいことです。

御朱印は増えていく楽しみ、鑑賞する楽しみもありながら、その土地との縁も繋いでくれ、ご利益をもいただけるものです。

御朱印は増えていく楽しみ、鑑賞する楽しみもありながら、その土地との縁も繋いでくれ、ご利益をもいただけるものです。

村の文化財技師とともに四ヶ所の史跡を訪れ、そこで感じたこと、伝えたことをそれぞれの史跡の特徴を捉えながら、ひと文字ひと文字に思いを込めて筆をふるわれました。

御朱印は増えていく楽しみ、鑑賞する楽しみもありながら、その土地との縁も繋いでくれ、ご利益をもいただけるものです。

「素敵！」そんな言葉が口をついて出る明日香村オリジナル御朱印『飛鳥乃余韻』が大好評です。御朱印を揮毫したのは奈良県在住の妖怪書家 逢香氏。

オリジナル御朱印 飛鳥乃余韻

明日香めぐりの思い出に

